

広島大学公開講座2010

「恋愛と性の講座」

「恋愛と性の講座」は、講師の先生方に恋愛を含む多様な視点から、分かりやすくお話をしていただく講義形式の講座です。保健管理センターでは、大学生を対象に性に関する様々なテーマを取り上げ、「生と性」について考える講座を2003年より開催してきました。性を学ぶことは、自分の生き方を考えることとなります。「恋愛と性の講座」では、あなたの生き方にプラスとなることが見つかるでしょう。今回で最終となる講座です。少しでも気になる方はぜひ、ご参加下さい。広大生のために始めた講座ですから、今回は特に大学生に聞いて欲しい講師をお招きしました。講義は一回完結となっており、部分参加も可能です。申し込みは不要ですので、直接会場にお越し下さい。4回以上参加された方には、修了証書を授与します。

お互いのこと、
もつと知ってみませんか？



昨年の参加学生の声

こういう講義は普段受けることがないので、勉強になりました。来て良かったです。(21歳)

教育学部で学んでいます。これから、教師になるうえで「性」について、自分なりにしっかり考えていきたいです。(18歳)

普段考える(聴く)ことのない話を聴くことができ、大変勉強になりました。今後生きていく上で参考になるお話でした。(22歳)



会期：2010年10月7日(木)～12月11日(土) 全7回講座
時間：木・金 16：20～18：20，土 14：00～16：00
会場：広島大学総合科学部事務棟3F 第一会議室 (東広島キャンパス)
参加費：無料

*一回のみの参加も歓迎します。

*連日実施(同一講師によるもの)は、同一内容です。

*講演内容等詳細は、裏面をご覧ください。

後援：広島県教育委員会・広島市教育委員会・東広島市教育委員会

主催：広島大学保健管理センター

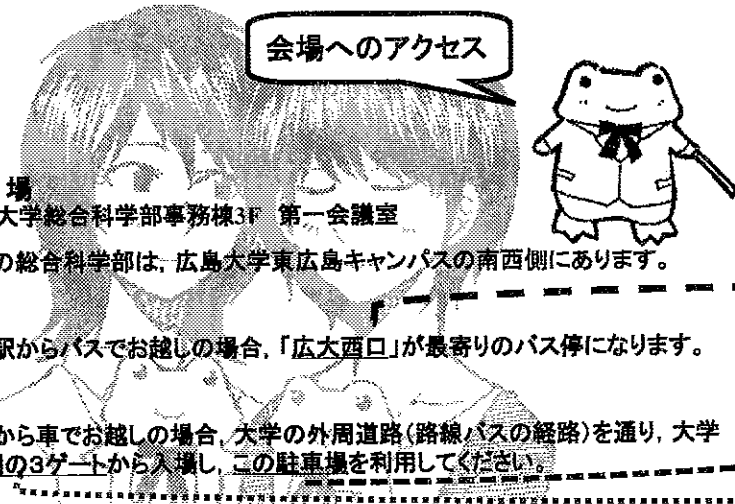
〒739-8514 東広島市鏡山1丁目7番1号

TEL：082-424-6192, E-mail：health@hiroshima-u.ac.jp

たくさんの参加、お待ちしております！

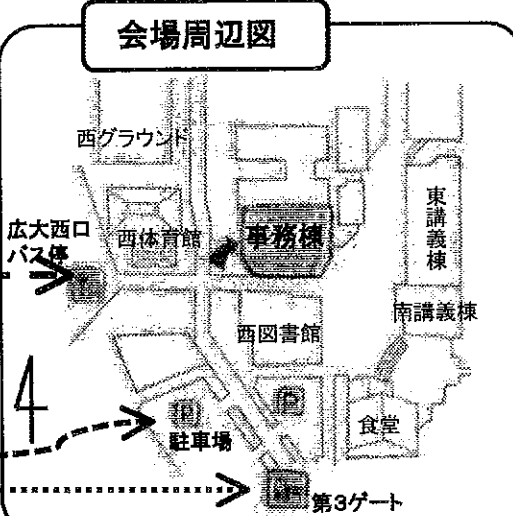
講師	内容	日時
第1回 河野美代子 (河野産婦人科院長)	「今こそ、君たちに伝えたいこと」 体・避妊・性感染症など大学生が知っておくべきことをお話します。 男性も女性も、ぜひ、聞いて下さいね。	10月7日(木) 16:20~18:20
第2回 村瀬 幸浩 (一橋・津田塾大学講師)	『デートDV』から恋愛と性を考える ～ひとりで生きていけないままふたりになろうとすると～ 婚姻関係及び内縁関係にある2人の間の暴力はDV(ドメスティックバイオレンス)といわれ、一定の法的措置がとられる可能性がある。しかし、未婚、恋愛関係における暴力は野放しにされている。近年この暴力(デートDV)が、大学生、高校生(時には中学生)などの間で相当数あることがわかってきた。つまり恋愛関係にあると意識していることもあって当人たちが暴力と気付かないまま悲惨な関係になっているケースが結構多い。こうした事実を基にして暴力と愛、支配とコントロール、性と愛の関係について考えるところから双方が納得と安心をベースに生き甲斐を分かち合える性のあり方について学んでいただきたい。	10月15日(金) 16:20~18:20 10月16日(土) 14:00~16:00 (同一内容)
第3回 河口 和也 (広島修道大学教授)	「同性愛と異性愛」 最近では、「同性愛」をめぐる問題についてメディアなどでも取り上げられることが多くなってきました。そのようなこととおして現実が変化してきたとも見ることができます。もちろんそのなかで何にも変わっていない部分もあります。そうした社会における同性愛をめぐる変化、とくにこの日本社会における変化に焦点をあててみたいと思います。そのとき、異性愛というセクシュアリティも同時に変化している可能性があります。そこでこの回では、「同性愛」と「異性愛」について考えてみたいと思います。	10月30日(土) 14:00~16:00
第4回 北仲 千里 (広島大学ハラスメント相談室)	「ジェンダーと性暴力」 男女が平等の権利をもつ現在でも、人生の始まりから最後まで、雨が降った時にさす傘の色からくしやみのスタイルまで、その人の性別によって大きな違いが出てしまうことも事実です。特にセクシュアリティについては、性別によって世間の取り扱いが大きく異なります。社会学的な見方をベースにして、ジェンダーとは何かについて考え、さらに性暴力問題とジェンダーとの関係について考えてみたいと思います。	11月12日(金) 16:20~18:20 11月13日(土) 14:00~16:00 (同一内容)
第5回 阪井 俊文 (北九州市立大学)	「愛と性の教科書」ファッション誌から探る若者文化としての恋愛 恋愛や性は、学校で教わる機会が少なく、親と話し合うことも少ない事柄です。では、若者は、恋愛や性の情報をどこから見聞きして自らの恋愛観を築いているのでしょうか。それは、言うまでもなく「メディア」です。テレビやインターネットなど、様々な媒体が存在しますが、特にファッション誌には恋愛や性についての情報が溢れており、「愛と性の教科書」の役目を果たしているかのようです。そこで示されている恋愛や性の指南がどのようなものであるかを知ることで、現代の若者の恋愛関係の特徴や問題点が見えてきます。皆さんにとっての教科書を、ちょっと距離を置いて冷静に分析してみましょう。そうすれば、パートナーと良好な関係を維持するためのヒントが見えてくるはずです。	11月19日(金) 16:20~18:20 11月20日(土) 14:00~16:00 (同一内容)
第6回 宮田 一雄 (産経新聞特別記者)	表現の枠を広げたい 報道の当事者から見たHIV/エイズ エイズについて取材を始めてから20年を超える時間が経過しました。その経験をもとに、世界のエイズ対策の歴史について概略の把握を試み、大きな時間的、空間的な枠組みの中で、日本のHIV/エイズの流行の現状と対策がどのように位置づけられるのかを考えてみます。エイズという致命的でもあった(そして、実はいままあり得る)感染症のパンデミック(世界的大流行)に直面した人々が、その世界的現象に翻弄されながら、どのように自らの危機に立ち向かい、自分を見つめ、表現を試みてきたのか。個人的な感想をいえば、私自身はとりわけ、このことに強く惹かれて取材を続けてきたようにも思います。ポストンやニューヨークでの経験、レッドリボンと「芸術のない1日」、ミュージカル「レント」などについても取り上げ、エイズとの闘いの中で、表現の枠を狭めないこと、大きく視野を広げていくことの大切さをささやかながらもお伝えできれば幸いです。	12月3日(金) 16:20~18:20 12月4日(土) 14:00~16:00 (同一内容)
第7回 松山まり子 (広島大学)	「恋愛と性の講座」 ～何歳になっても性は学ぶべきテーマである～ 「恋愛と性の講座」の始まりは、大学生のための性教育講座としてスタートさせた企画でした。私自身も、性について学ぶことは、何歳でも学ぶべきことであり、生き方であることをこの講座を企画、実施しながら学びました。最後に、この講座を客観的に検討してみます。	12月11日(土) 14:00~16:00

会場へのアクセス



- ・会場
広島大学総合科学部事務棟3F 第一会議室
- ・会場の総合科学部は、広島大学東広島キャンパスの南西側にあります。
- ・西条駅からバスでお越しの場合、「広大西口」が最寄りのバス停になります。
- ・学外から車でお越しの場合、大学の外周道路(路線バスの経路)を通り、大学の南側の3ゲートから入場し、この駐車場を利用してください。

会場周辺図



西グラウンド
西体育館
事務棟
東講義棟
南講義棟
西図書館
食堂
駐車場
第3ゲート

広大西口バス停